



# おてだま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN

NO. 18

2003年6月

## 特集1 指導者養成講習会

1~3



審判指導

- 本部会場
- 神戸会場
- 講習会に参加して

## 特集2

### お手玉遊び

### 新居浜市民大会

4~5



会場の「錦夢にいほま」

## 速報

### 第25回サントリー地域文化賞を受賞

5



熱心に講義

- カラーパンフレット完成 ..... 6
- 鐘頭「おてだまっこ」誕生 ..... 6
- 新支部紹介 ..... 7
- 島根の会員の方より ..... 7
- お知らせ ..... 7
- 第13回大会の開催地決定
- 第14回大会の開催地決定
- まなびピア沖繩「2003への参加案内
- 国際文化交流の旅(ポルトガル)

### ●第12回全国お手玉遊び福岡大会ご案内

8

# 第3回指導者講習会 in 新居浜

## 全国より46人の参加

平成15年3月8日(出)・9日(回)の2日間、日本のお手玉の会本部にて「第3回指導者養成講習会」を開催いたしました。受講者は、10都府県から46名の参加がありました。中には、長野県よりお車でいらっしゃった方もおり、会長をはじめ事務局一同、驚いたと同時に大変うれしく思いました。

講習会は、歴史・お手玉の作り方から始まり、お手玉の指導方法・段位認定審査などが、行われ、楽しく笑いながらも真剣な表情で受講されていました。

受講者のお一人で、福岡県よりご参加で段位6段を取得されました「杉村美智子」さんより、講習会に参加された時の様子や感想をいただきましたので、ご紹介させていただきます。



まずは基本の座布団型から(作り方)

お手玉遊び指導者講習会

(平成15年3月9日 日本のお手玉の会本部にて)

六段取得者

大牟田お手玉の会

杉村美智子

たかがお手玉・されどお手玉

\*出会いが一枚のながさから\*  
 おや、もしかしてお手玉?まさか、でもという驚きと期待とで胸の高まりを押し切れず、新聞記事を読んだのは平成十年の秋でした。

詳しく知りたいけれど、どうすれば良いか考えた末、新聞社にはがきを出し、教えてもらったのが、「お手玉の会」との出会いです。すぐお手玉の会より資料を送ってもらいましたが、そのとき、現会長の藤田さんより熊本で大会があるからというお便りを頂き、楽しみにして参加しました。

編 集 発行 印刷

2003年(平成15年)3月9日 日曜日

### お手玉の輪広めよう

新居浜で全国から46人参加  
指導者講習会

日本のお手玉の会(会)を一度に上げる難しい。田嶋会長、約千四百人、技までを教わった。参加者は八、九の国、新居浜、者らは何人も玉を落とす。青森、四日、白の同会本、しながらも、リズムよく指導者養成講習会を、和氣あいあい、上開いており、十都府県より高度な技に挑戦している。四十六人が参加、おすた。

玉の美技や理論を学んで

初日の実技指導では「お手玉を両脚の間隔、腰の活性化を助け、健康や人との交流に役立つ。ひざを使うところ、つななど、幅広い知識をく上げる」などとアド

また布を縫って実際に

お手玉を作ったほか、お

「お手玉を両脚の間隔、腰の活性化を助け、健康や人との交流に役立つ。ひざを使うところ、つななど、幅広い知識をく上げる」などとアド

身に向けた。

二日目は「座ったまま

本動作から三個、四個できるとお手玉」など高難



お手玉の実技や理論を学ぶ指導者養成講習会

藤田さんにお会いして、「一入会していませんが、全国大会に参加出来ずでしようか。」とおたずねしたところ、「できますとも、お待ちしていますから、是非お出でなさい」と、あのときの温かく相手を含みこむような対話の中に、キラキラと輝くものを感じたことを、今でも思い出します。

そして、平成十一年、第八回大会を主人共々見学させていただきましたが、広い会場に老若男女、あふれる参加者、想像以上の大会の盛り上がりがびっくり致しました。

次の年、第十回大会に初参加しましたが規定のお手玉を持たず困っていたとき、どなたか、これを使いなさいと替わっていただきました。有り難い、助かったと思いがから一生懸命頑張りました。気がついたら三個作り優勝ということになり、グアム旅行のご褒美まで頂き感激しました。

第十一回大会ではジャグリングで優勝、お手玉との絆が一段と強くなりました。

その後、武田前会長や藤田現会長のお誘



真剣な表情の受講者のみなさま

いを受けて、ロサンゼルスや、シドニーへそしてお手玉のルーツを訪ねてパリ・ボンベイへとお手玉の旅に同行させていただきました。

**\*広がるお手玉の輪\***

そんな折、福岡支部から、全国大会開催に向けて準備に入るからお手伝いをということ、できる範囲内でご協力させて頂いておりましたが、ある日、専門学校先生より、自分の授業にお手玉を取り入れたいから手伝ってほしいと打診され、私にできることならとご返事はしたもののだんだん不安に思えてきていた折に、お手玉指導者講習会の知らせが目に留まりました。

**\*チャレンジ\***

三月九日の指導者講習会では、藤田会長より、活動、歴史、効能等の話の中で、たかがお手玉、されどお手玉、さすがお手玉、基本的に楽しさが伝わればよし、お手玉の威力、魔力は計りしれないものがある等のお話を聞き、感動しました。

そして、お手玉は作ることから始めないと良さがわからない。つまり、達成感が味わえ、その上自分で作ったものは大切にしよう、遊ぶことができるということ、作り方の指導がありました。過去には、裁縫しながら昔話の一つもしてくる人がいたけど、すっかり忘れ去られた高度成長期、悲しいかな、おばあちゃんから孫へと伝える人がいなくなったこのご時世、人づくりはお手玉作りからの話で午前の部を終え、午後の部は実技となり、それぞれ汗を流しながらチャレンジして、楽しい時間を過ごしました。

二日目は今村師範代に、老人福祉施設関係での指導をしていただきました。お手玉を通して体の不自由な人でも楽しく、無理なく、椅子にかけながらの遊びは脳のリラックスにまで及び、数々の実践を体験されてのご指導は、ユーモアあり、笑いありで収

穫大でした。

午後からは、参加者全員段位チャレンジということ、初段から次々と取得され、その度に歓声があがり、にぎわってました。私が五段に臨む頃からは、一人だったせいか、別世界のような雰囲気になりました。特に六段の技では、今村師範代に見本を見せていただき、少し練習させてもらいましたものなかなかに難しく、次の機会に回そうかとあきらめかけていたところ、審判員の方に風のあまり当たらないところや、右ばかりでなく左も使って練習してごらんというアドバイスを頂き、無我夢中で頑張りました。

四十六名の方々の目が集中し、水を打ったようにシーンとなり、緊張感で身震いするほどでしたが、「クリアです。」といわれたとき「ヤッター」と叫びたかったのですが、その前に審判員の方が駆け込みに室内に入られ、「合格です。」と皆さんに告げられ、それに呼応して四十六名の方々の歓声が一斉に上がりました。自分のことのように喜んで頂いて、これがお手玉の会の仲間なんだ！と実感致しました。

**\*わたしに出来た\***

「私に出来たんですよ。」といったら会長さんが「そこがお手玉の魔力ですよ」といわれ、本当にそうだと思います。お手玉大会三個ゆり決勝のときも、頭の上に三個乗せていたお手玉が不思議な力を出してくれたような気がするし、今回も吸い込まれるように夢中になりました。でも我にかえて考えてみると、そう導いてくれたのは、ここに集われた皆様ではないかと思えました。お手玉を通して、名実ともに手のぬくもりが心に伝わったひとときではなかったかと思えます。

**\*終わりに\***

除に臨みスタッフの皆様方のご苦勞を目的の当たりし、ここまで歩いてこられた前会長の武田様を始め、現藤田会長、関係者の皆様方に出会ったことができて本当に良かったと心から感謝しております。意義ある講習会を有り難うございました。

国内はもちろんのこと、広く世界に、ますます飛翔する「日本のお手玉の会」の皆様、今後ともご指導よろしくお願ひ申し上げます。

**指導者研修会参加者**

長野県茅野市 小松志づ子さん

お手玉の日だまり櫻ひ山笑ふ

**指導者養成講習会 in 神戸**



早くも13回大会に向けて指導開始



5月17・18両日 in 神戸



見事なものです。姿勢もいい。

# お手玉遊び新居浜市民大会



勝敗が決まった瞬間（団体戦）



会場のみなさんが注目の中で、片手2個ゆりの決勝戦



今大会のはのほの雰囲気スタートは、なんととっても可会を引き受けてくださった、パーバラ伊藤さんの登場でした。笑顔の中に英語的日本語やその日本語のニュアンスの難しさなど、ユーモアたっぷりの進行には観客の人たちも大変満足そうでした。

五月二十五日「銅夢にいほま」にてお手玉遊び新居浜市民大会が開催されました。新居浜ふれあいたうん振興組合さまの熱いご協力を得て、明るい大会になりました。市民のみなさまにとっては、久しぶりの心弾む一日となりました。

一昨年から全国大会が全国持ち回り開催となり、市民の方々からの「地元の大会がないのは寂しいね」と言う声を受けて、この日を迎える運びになりました。また、この市民大会には、九月の全国お手玉遊び大会開催地である福岡市や高知県須崎市、全国大会最多優勝チームの松山琴扇舞会や日頃より大変ご協力いただき実践活動の盛んな三島市の栗形外科チームも参加いただき、市民大会を一段と盛り上げていただきました。

享和 日 新居 2003年(平成15年)5月26日 月曜日



地元で12年ぶり  
お手玉の技競う  
新居浜で市民大会  
新居浜市泉田町の「銅夢にいほま」で26日、お手玉遊び新居浜市民大会が12年ぶりに開かれ、団体戦に32チーム、個人戦に33人が出場した。観衆も市民大会は11年に開かれた。初回は全国大会になり、新居浜市民も参加できたため、市民大会は開けなかった。しかし、去年から、全国大会

が全国各地で開かれることになり、市民から「地元の大会がないのは寂しい」「遠くまで全国大会に参加できない」との声



があがっていた。今年市民大会には、全国大会がある福岡市や高知県須崎市、松山市などのチームも参加。特に赤いもうせんを戴いた試合場で、お手玉をどれたけ長い時間続けられるかを競っていた。



# 『サントリー-地域文化賞』受賞

愛媛 2013年(平成15年)6月5日 本曜日

競技の団体戦は一般が27・小学生5チーム。その中には福祉施設入居者の方たちも、日頃の成果をみせてくれました。みなさん楽しいユニホームを身につけ、お顔もやや紅潮されます。会場の声援を受けながら、悲鳴あり、歓声あり、手を振りあい、励まし合っている姿はチームワーク抜群です。勝敗のみにこだわらず、それぞれの人がお手玉を通して温めていた人間関係、優しさに触れることもでき、特別賞といううれしい

賞も、小学生にも一般の人にも頑張ったでしょう(賞)が贈られました。会場のロビーではお手玉グッズがずらり並び、子どもたちはわくわくです。また、この日お手玉徳頭「おてだまっこ」も大会にちなんだお土産物として初売りされました。「中の小豆の餡がおいしい」と用意された百箱のおてだまっこは全部売れてしまいました。(詳しくは6ページをご覧ください)

ドームの外では、たこ焼き、うどん、寿司、お弁当そしてフリーマーケット。昼食もそれぞれお好みのものを食べられて、みんなうれしそう。集って参加して、一人一人が制覇という、まあいるい、まあいるい器の会場ではほほえみ、語り合い健康である喜びを感じながら、温かい市民大会らしいものになりました。やっぱり

## サントリー-地域文化賞に 日本のお手玉の会(新居)

第二十五回サントリー-地域文化賞の発表が四日あり、新居市庄内町一丁白の「日本のお手玉の会」(藤田石根会長、会員五百人)が他の四団体とともに選ばれた。同賞は、サントリー文化財団(大阪市、佐治信忠理事長)が毎年、地域文化の発展に貢献した個人・団体に贈る。県内では一九九二年に藤原町内子町の「歴史と文化の風(FAVOR)」、二〇〇〇年に福原町信町の「高島屋宮大正ロマン館」が受賞しており三件目。



「日本のお手玉の会」が開いたお手玉遊び新居市民大会で真剣に競技する人たち(5月25日)

二年に設け、以後同市で二〇一二年まで全国大会を開催し、二〇一三年からは熊本県、本年は福原町、来年は神戸市と会場を持ち回りにし、第五の参加者は八宮人を受賞、全国二十六支部、海外四支部に拡大。藤田会長は「賞の上の賞だ」と思っていたので、夢のようだった。これからも地域に根ざし、スポーツ性とレクリエーション性、文化性のある遊びと

二年に設け、以後同市で二〇一二年まで全国大会を開催し、二〇一三年からは熊本県、本年は福原町、来年は神戸市と会場を持ち回りにし、第五の参加者は八宮人を受賞、全国二十六支部、海外四支部に拡大。藤田会長は「賞の上の賞だ」と思っていたので、夢のようだった。これからも地域に根ざし、スポーツ性とレクリエーション性、文化性のある遊びと

この度日本のお手玉の会は、「サントリー-地域文化賞」を受賞いたしました。これもひとえに会員のみならず、役員のみならず、またご支援いただきました多くの方々のおかげと、深く感謝いたしております。「日本の伝統的なお手玉遊びに競技性に加え、老若男女幅広い人々を惹きつけ、全国さらには世界に広がった活動の発祥の地として、新居浜での「お手玉のまちづくり」にも発展することを期待」という理由でこの賞をいただきました。

愛媛県内でこれまでにサントリー-地域文化賞を受賞されたのは、【内子歴史と文化の里づくり】・【高島屋宮大正ロマン館】であり、日本のお手玉の会で3回目を受賞となりました。今回は高知県の馬路村【馬路村 柚子のふるさと村づくり】との、四回でダブル受賞となりました。

この賞につきましては、平成15年6月4日(水)に、愛媛県の県政記者クラブにて記者発表があり、正式な贈呈式は、平成15年7月15日(火)東京のサントリーホールにて行われる予定です。この様子は、次号にてご報告させていただきますので、みなさま楽しみにお待ちください。

内高師保存会、暖房楽奏、湯田楽流し仁輪加、同山市桃太郎少年合唱、同山馬路村馬路村柚子のふるさと村づくり、秋田県羽後町(西原善一)

この度は、新居浜大会に参加し、貴重な体験とお勉強をさせていただきました。お手玉運動、お手玉大会が、決して偶然に生まれたものではないこと。新居浜の歴史と伝統と風土と文化、社会、市民の所産であること。そして、お手玉大会創出の動機・理由、ねらい・目標、有志の方々が真剣に熟考され、実践なさったことなどを知ることができました。

大会当日の、役員・スタッフの方々のほほえみ・笑顔、表情、暖かい言葉かけ、さりげない動作にも参加者を中心に歓迎されるホスピタリティを感じ、ふるさとに帰ったようにホッといたしました。

お手玉を通して、一人ひとりが人間として尊重され、生きる意味を大切に、生きる力を養い、生きる喜びを創り出されていることを感じ知らされました。

福原お手玉の会  
大石 正人 様より



太鼓台お手玉 (愛媛県)

# 待望のパンフレットがコンパクトサイズで登場。

「お手玉のこと、あれもこれも話したいけど。」

「今日は時間がなくて、どうしよう。」

「たくさん資料は重たいし、全部説明できるかな。」

「すぐにみんなと情報交換できるといいなあ。」

3月、こんな悩みを解消するパンフレットがついに完成しました。

お手玉の普及活動の情報源として、写真絵本「お手玉」に続き、一目でお手玉の全てがわかり、多様に使えるものがほしいという声に答え制作されました。

A4用紙を横に2枚並べた大きさで、表裏両面使用の内容たっぷりサイズ。

見て楽しくわかりやすくするため、カラー写真、イラスト、地図を豊富に取り入れたカラフルなパンフレットに仕上がりました。

さらに、六折り（10cm×21cm）のコンパクトサイズにしてお届けしますので、いろんな場面で、みなさんの活動にお役立てください。

ご希望の方は1部100円



# 饅頭「おてだまっこ」誕生！

2008年(平成15年)5月27日 火曜日 10:00

**おてだまっこ 饅頭でも発信**

「Otedamako Project」

**市民ら考案 有限会社つくり発売**

9月の福岡全国大会に「名物」として売り込みたい

平成15年5月25日（日）のお手玉遊び新居浜市民大会に合わせ、この度、お手玉をかたどった饅頭「おてだまっこ」が誕生しました。会員の大西妙子さんをはじめ多くの方々の、お手玉に対する長年の熱い思いから、誕生となりました。

おてだまっこの中には、絞あんが入り一箱8個とかわいい布製のお手玉が一つ添えられています。

市民大会では、用意したおてだまっこ百箱が完売！うれしいスタートとなりました。今年の福岡での全国大会でも、新居浜名物として売り込む予定です。

「おてだまっこ」お問い合わせ先

森の泉〈愛媛県新居浜市〉：0897-33-5830（火曜日お休み）

# 支部活動案内

またまた

☆新しい支部が  
結成されました！

第24号 石川支部

石川県 お手玉の会

代表者 折井 泰昌

第25号 西宮支部

西宮お手玉の会

代表者 山形 隆子

第26号 尼崎支部

尼崎のお手玉の会

代表者 池辺美保子

第27号 松山支部

琴扇舞お手玉の会

代表者 栗田 和美

第28号 兵庫北支部

八千代「やまとおじやみの会」

代表者 益田みち子

第29号 大牟田支部

大牟田お手玉の会

代表者 杉村 浩男

第30号 須崎支部（7月に結成の予定です）

兵庫では、来年の「第13回全国お手玉遊び神戸大会」（仮称）に向けて、神戸支部をはじめ5つの支部がそろいました。どのような大会となるのか、今から楽しみですネ！

また、高知県の須崎支部は、7月に結成の予定です。各支部のご活躍を期待しております。

◆各支部にて、楽しい話題がありましたら、掲載させていただきますので、情報をドンドンお寄せくださいませ。お待ちしております。



琴扇舞お手玉の会誕生 2003.3.12



▲ 認定証

## お知らせ

### 全国大会開催予定

平成16年「第13回全国お手玉遊び神戸大会」(仮称) 兵庫県神戸市にて  
平成17年「第14回全国お手玉遊び大会」(仮称) 岐阜県美濃加茂市にて

### 第15回全国生涯学習フェスティバル まなびピア沖縄2003への参加

平成15年11月27日(木)～12月1日(月)の間、沖縄県の沖縄コンベンションセンターおよび宜野湾海浜公園にて、「ちゅら島で 拓こう自分！ つなげよう心！」をテーマに、まなびピア沖縄2003が開催されます。日本のお手玉の会は、沖縄でもお手玉の伝承文化の輪を広げるために参加させていただくこととなりました。

日本のお手玉の会は、「チムどんどん体験コーナー」に11月29日(土)に出展させていただく予定です。出店内容は、「世界と日本のお手玉を見て、作って、遊ぼう」をテーマに、お手玉の展示と、お手玉作り指導やお手玉遊び教室などをいたします。みなさまぜひご参加ください。



島根の会員、高本文子さんから写真が送られてきました。神戸講習会にも参加され、子供たちに広く「New お手玉遊び」を教えています。

### 日本・ポルトガル交流460周年記念国際文化交流の旅

以前、一宮グループ社長の一宮能和様が、ポルトガルへ行かれた際に、お手玉をしている少年と出会い、絵本お手玉の英語版「OTEDAMA」を贈られたことがきっかけでポルトガル大使館より、今回の「国際文化交流の旅」へのお誘いをいただきました。

ポルトガル3番目の人口約9万人の文化都市である、コインブラ市にて、同市合唱団とのジョイントコンサートや、茶道・お手玉・日本舞踊などの伝統文化の紹介など、いろいろな交流が計画されています。

交流の旅は、平成15年10月22日(木)～29日(木)ですが、ご興味がおありの方は、7月15日(火)までに、日本のお手玉の会までお問い合わせください。

# めざせ！お手玉名人

## 第12回全国お手玉遊び福岡大会

昨年9月に、初めて県外での開催となりました熊本での「全国お手玉遊び大会」は、心温まる素晴らしい大会となりました。

今年も平成15年9月7日(日)アクション福岡にて開催されます。内容は、個人戦・団体戦(小学生の部・一般の部・学生交流大会の部)、段位認定審査や6日(土)には、お手玉演舞大会や、前夜祭、なども予定されています。福岡大会では、新しく「学生交流大会」が開催されます。福岡市内には、大学が多く学生の参加が多く予想されるので、計画されたそうです。学生の方だけでなく、全国のお手

玉名人の方々に多く集まっていたら、もっともっとお手玉の輪を広げていただき、お手玉名人、を目指して頑張ってください。

申込締切り 平成15年7月31日(木)

お問い合わせ先

〒810-0001

福岡市中央区天神一丁目一〇一

レクリエーション協会内

「第12回全国お手玉遊び

福岡大会実行委員会」

TEL 092-73315020  
FAX 092-73315021

### 福岡お手玉の会 支部活動

この度、福岡お手玉の会会長が佐藤靖典さんから、春田智明さんに交代となりました。

福岡お手玉の会では、全国大会に向けて先日、6月14日(土)・15日(日)に、大会会場のアクション福岡にて、「第1回審判講習会」が開催されました。本部からは会長を含め5名の審判員が講師として参加し、会場は100名もの受講希望者であふれ、終始真剣に講習を受けられました。質疑応答の時間ではたくさんの質問があったそうです。本番の全国大会では、ぜひ講習会の成果を発揮していただき、素晴らしい大会にしたいと思っております。

また、「第2回審判講習会」は、8月2日(土)に予定され、さらに8月3日(日)には、全国大会のリハーサルが行われる予定です。

福岡お手玉の会では、このような講習会やリハーサル、定例会などを開き全国大会に向けていろいろとご準備されておりますので、全国大会にはぜひ、福岡までお越しくださいませ。

### 「第12回全国お手玉遊び福岡大会」開催要項

- 大会名 第12回全国お手玉遊び福岡大会
- 期日 平成15年9月6日(土)～7日(日)
- 会場 大会：福岡県立スポーツ科学情報センター(アクション福岡) 前夜祭・全国交換の夕べ：福岡市役所15Fレストラン
- 主催 日本のお手玉の会 特定非営利活動法人福岡県レクリエーション協会 福岡お手玉の会
- 主催 第12回全国お手玉遊び福岡大会実行委員会
- 後援 総務省 文部科学省 厚生労働省 財団法人レクリエーション協会 (案) 福岡県 福岡県教育委員会 福岡県社会福祉協議会 福岡市 福岡市教育委員会 福岡市社会福祉協議会 福岡県観光コンベンションビューロー マスコミ各社ほか
- 大会日程
 

1日目	9月6日(土) 12時00分 受付開始
	13時 学生交流大会
	15時 お手玉演舞大会
	18時 前夜祭・全国交換の夕べ エキジション(スピード大会)
2日目	9月7日(日) 8時30分 受付開始
	9時30分 オープニング・開会式
	10時30分 個人戦
	12時00分 昼食・休憩
	成績発表・表彰式 アトラクション(お手玉演舞ほか) エキジション(400歳以上大会)
	13時00分 団体戦
	15時30分 成績発表・表彰式
	15時45分 閉会式
	16時00分 閉会・終了
- 競技種目 団体戦：①一般の部 ②小学生の部 ③学生交流大会の部  
個人戦：①一般の部(4種目) ②小学生の部(2種目)  
③学生交流大会の部(3種目)
- 大会規模 競技参加者数：2,000人(約30都道府県から)、観客予想数3,000人  
①学生(大学・短大・専門学校)交流大会 団体戦64チーム個人戦500人  
②お手玉演舞大会 団体の部 16チーム 個人の部 50人  
③団体戦 一般の部 125チーム 小学生の部 16チーム  
④個人戦 一般の部 1,000人 小学生の部 100人

## めざせ！お手玉名人 第12回 全国お手玉遊び 福岡大会



NPO福岡県レクリエーション協会設立12周年



2003年 9月6日(土)  
演舞大会・学生交流大会の夕べ・前夜祭、全国交換の夕べ

2003年 9月7日(日) 午部・個人戦 夕部・団体戦  
第12回 全国お手玉遊び福岡大会

- 会場：アクション福岡  
(福岡県スポーツ科学情報センター)
- 交通情報
  - 地下鉄福岡の通駅(北橋駅)より徒歩で約5分(バスまで約5分)
  - 大会時(午後)より徒歩約15分
  - 大会会場は、地下鉄福岡の通駅(北橋駅)より徒歩約15分(バスまで約5分)

お問い合わせ先 ▶ 第12回 全国お手玉遊び 福岡大会実行委員会 レクリエーション協会内  
TEL:092-73315020 FAX:092-73315021



発行・編集

日本のお手玉の会 会報編集委員会

〒792-0911 愛媛県新居浜市庄内町1-13-14

TEL/0897-36-0600・FAX/0897-36-0644

E-mail: tamachan@otedama.shikoku.ne.jp

ホームページ

http://www.shikoku.ne.jp/otedama/